

# 片瀬に藤沢めだかのふるさとを作ろう

藤沢市立片瀬小学校

## 1. 実践の内容

3年前、6年生の「総合的な学習の時間」の中で子どもたちの提案からスタートした活動である。

- ①めだかの住む環境として、裏庭にビオトープを造った。立ち上げに際し、藤沢市教育文化センターの指導主事や「藤沢めだかの学校をつくる会」会長にご指導をいただき、設計図を描き、子どもたちが穴を掘り、そこにブルーシートを敷いて、小さな池を作った。
- ②実行委員の子たちが中心となり、活動を紹介するためのポスターを書き、全校に掲示する等、子どもたちの自主的活動を中心に進めた。
- ③片瀬地区の「藤沢めだかの学校をつくる会」のメンバーにアドバイザーをお願いし、ビオトープの維持やめだかの飼育に取り組んだ。



## 2. 実践の成果

- ①春のヒキガエルから夏のヤゴ、秋のトンボまで、片瀬地区の小さな生き物たちの1年間の自然のサイクルを観察し、校内で学ぶことができた。
- ②一度絶滅してしまった「藤沢めだか」の生態を講師からわかりやすく説明してもらい、めだかの成長や自然の大切さを学ぶことが出来た。
- ③ビオトープの体験を通して、片瀬地区の自然や生き物に対する興味・関心が高まった。
- ④自然のサイクルや生命について、多くの体験と知識を得ることが出来た。



## 3. 今後の課題、実践のポイント

現在も、地域の方や「藤沢めだかの学校をつくる会」と連携しながら、身近な地域素材を活かした学習活動を展開している。現在、諸事情によりビオトープは一時閉鎖しているが、今までの経験を活かして、継続的に観察できるビオトープを造っていきたい。学校施設として各校に設けられることを期待する。

